



# スター精密株式会社

証券コード: 7718

## 会社説明会

2012年8月8日

取締役社長 佐藤 肇



本資料にて記載している業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。そのため、実際の業績は様々な要素により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## 目 次

1.スター精密とは	P 1
2.スター精密の特徴	P 5
3.事業内容	P 9
4.業績の推移・見通し	P18
5.将来展望	P22

# 1.スター精密とは

## 会社概要

会 社 名 : スター精密株式会社

本社住所 : 静岡県静岡市駿河区中吉田20-10

代 表 者 : 佐藤 肇

創 業 : 1947年2月

設 立 : 1950年7月

資 本 金 : 127億2千1百万円

上 場 先 : 東証 第一部(1990年10月上場)

従 業 員 : 単体 584名 連結 2,291名

(2012年2月29日現在)

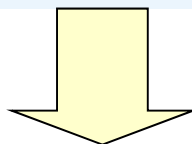
## スター精密の創業

### 3つの創業スピリッツ

■ 最小の材料で最大の効果をあげる事業

■ 輸送コストのかからない事業

■ 人を大勢使わない事業



精密部品の加工業をスタート

## 事業の沿革

1950年

### 精密部品事業

3つの創業スピリッツ  
に基づきはじまる  
精密部品加工業



1958年

### 工作機械事業

自社で製造、使用し  
ていた部品用加工機  
で工作機械市場へ



1970年

### 特機事業 コンポーネント事業

精密加工技術と  
エレクトロニクスの  
融合

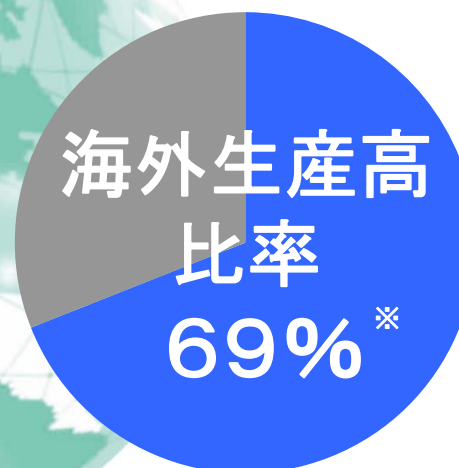
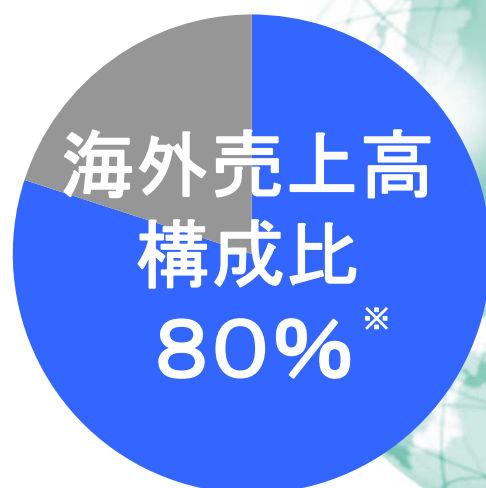


## 2.スター精密の特徴

## スター精密の特徴①

### グローバル・ニッチ経営

1,000億円規模のニッチ市場で  
10%以上のマーケットシェアを獲得



海外子会社 7ヶ国16社※

※2012年2月期データ

## スター精密の特徴②

# アジアでの充実した生産体制

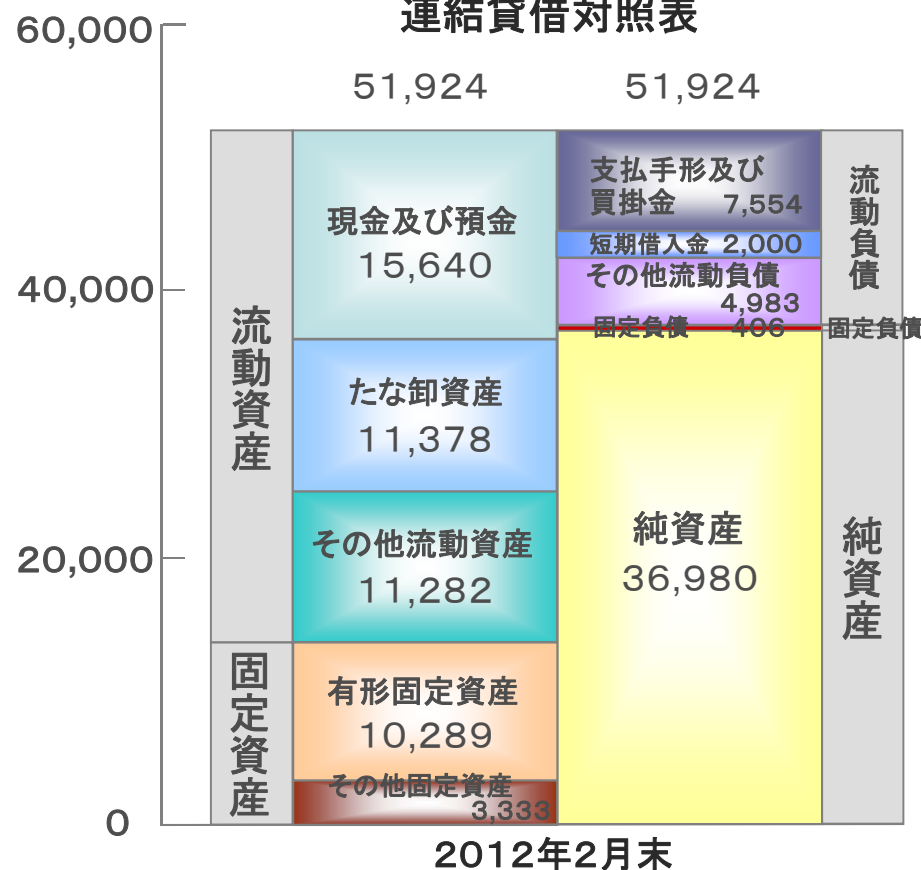


## スター精密の特徴③

### 抜群の健全性

(単位:百万円)

連結貸借対照表



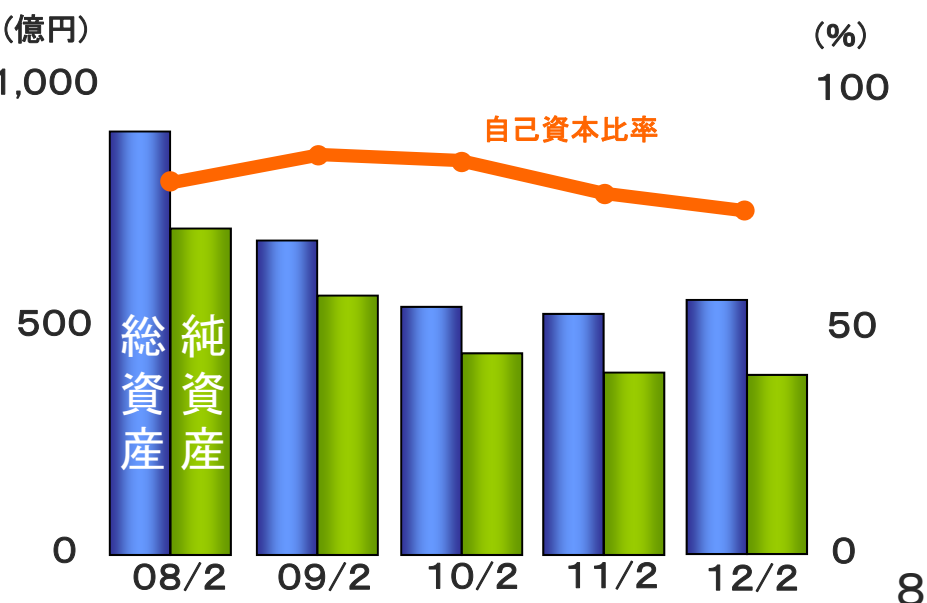
■ 流動比率 263%

※流動比率=流動資産÷流動負債×100%

■ 自己資本比率 70.2%

(億円)

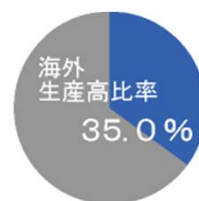
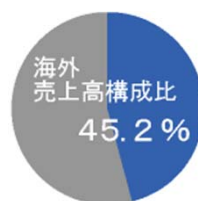
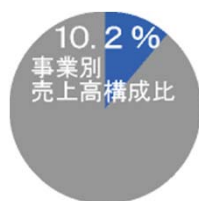
(%)



## 3.事業内容

## 精密部品事業

売上高: 42億6千3百万円



※2012年2月期データ

## 当社創業からのドメイン

- 腕時計部品加工分野では国内トップクラス
- 加工から組立まで精密部品の一貫生産
- 非時計部品(医療用、自動車用、HDD用等部品)分野の扱いが拡大

## 取扱製品

### 腕時計用部品



### 医療用部品



### PC・各種デジタル 関連機器用部品



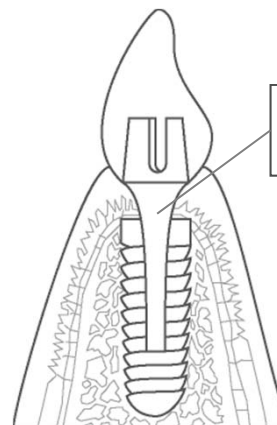
## 身近なところで活躍する当社の精密部品

### 腕時計



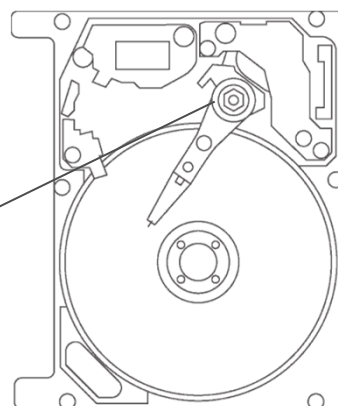
捲真  
リユーズ  
パイプ  
プッシュボタン

### 医療



インプラント

### 小型ハードディスク 駆動装置(HDD)



ナット

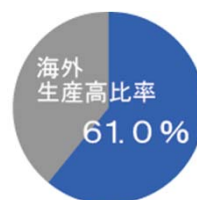
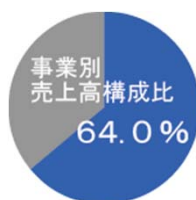


ボーンスクリュー



## 工作機械事業

売上高: 266億3千9百万円



※2012年2月期データ

ユーザーが、ユーザーのためにつくるマシン

- 自動車、電気、医療など小型化、高精度化が進む幅広い分野での利用
- 高い市場シェア、新興国市場での需要拡大
- 新規市場(スイス型以外)への参入

## 取扱製品

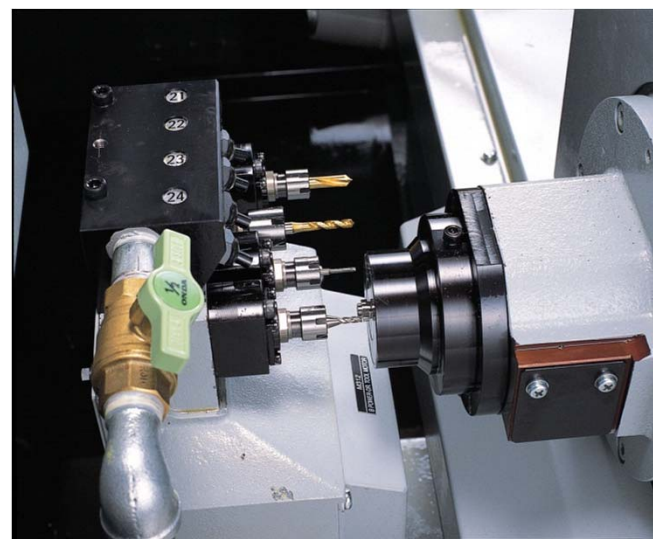
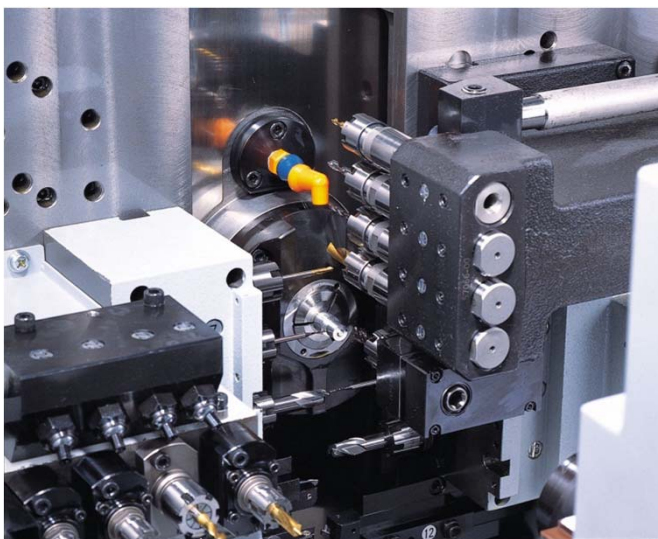
CNC自動旋盤等工作機械



## 当社の工作機械の特徴

### スイス型(主軸移動型)自動旋盤

腕時計部品に代表されるような、  
小型の精密部品を高精度で  
大量に切削加工を行う工作機械



## 特機事業

売上高: 78億6百万円



※2012年2月期データ

## メカニカル技術とエレクトロニクス技術の融合

- BRICsなど新興国市場でのPOS普及による需要の拡大
- POS以外にも宝くじ発券機、キオスク端末等に用途拡大
- ソフトウェアで差別化を図った製品開発

## 取扱製品

### 小型プリンター



POS用プリンター



モバイルプリンター

### カードリーダーライター



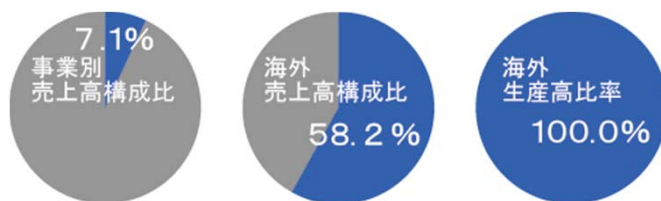
ポイントカード書換機

## 身近なところで活躍する当社の特機製品



## コンポーネント事業

売上高: 29億4千4百万円



※2012年2月期データ

### 精密加工技術をコアに「音」を追求

- 収益の好転が見込めないことから、当事業を2013年2月期をもって売却し、事業終了予定
- これまで培った小型音響技術の研究は今後も継続し、将来の製品展開に繋げていく予定

### 取扱製品

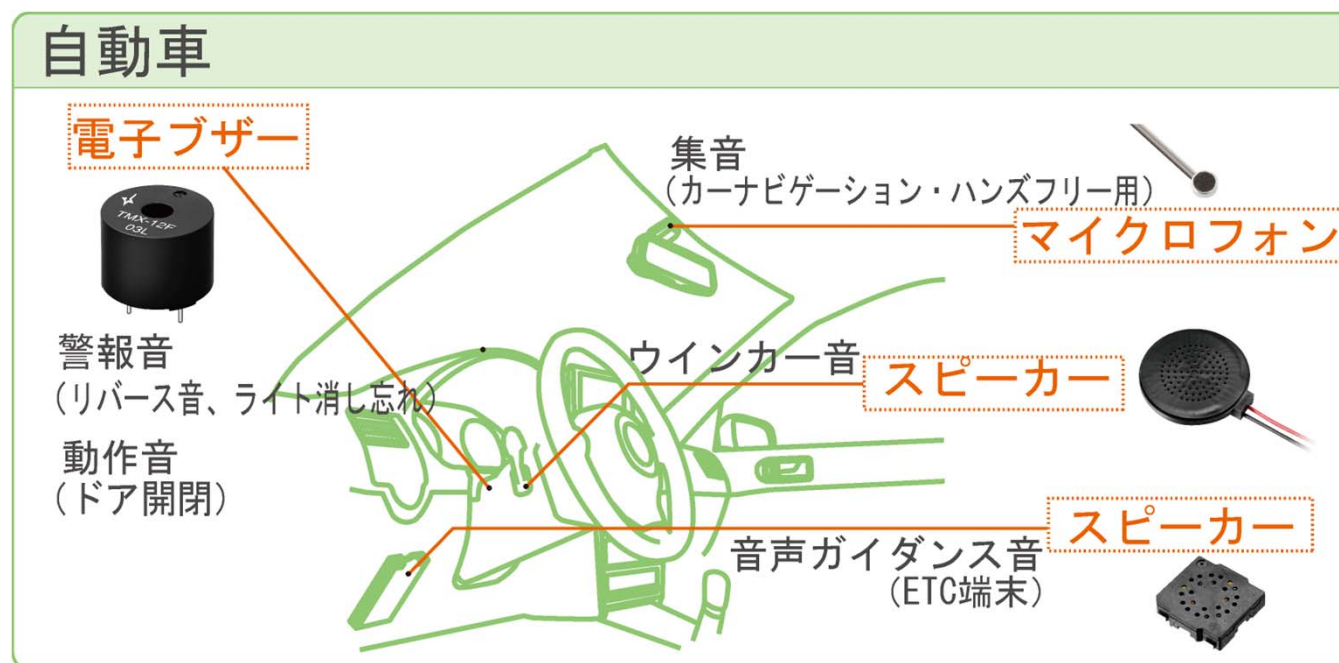
#### スピーカー



#### 電子ブザー

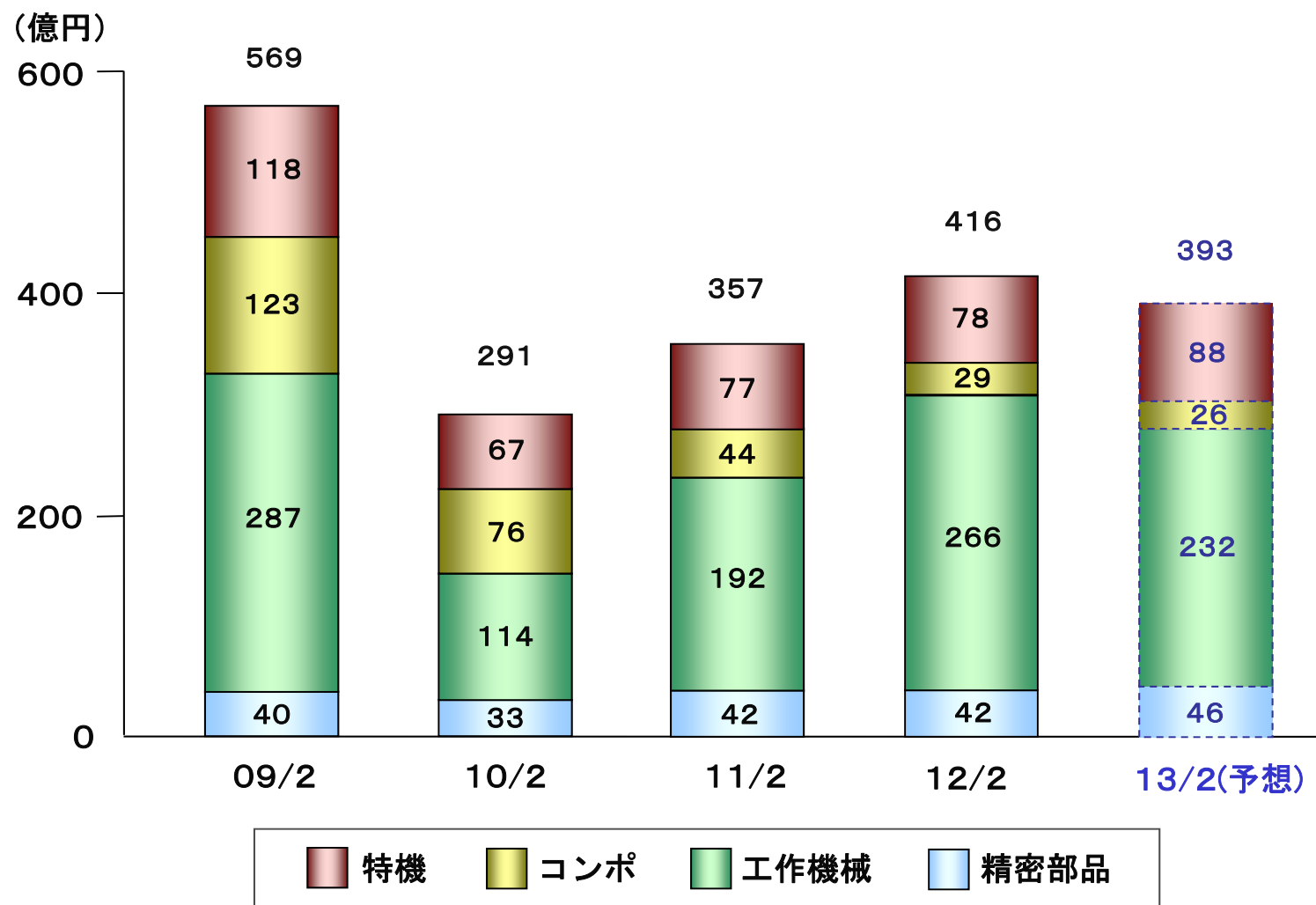


## 身近なところで活躍する当社の小型音響部品

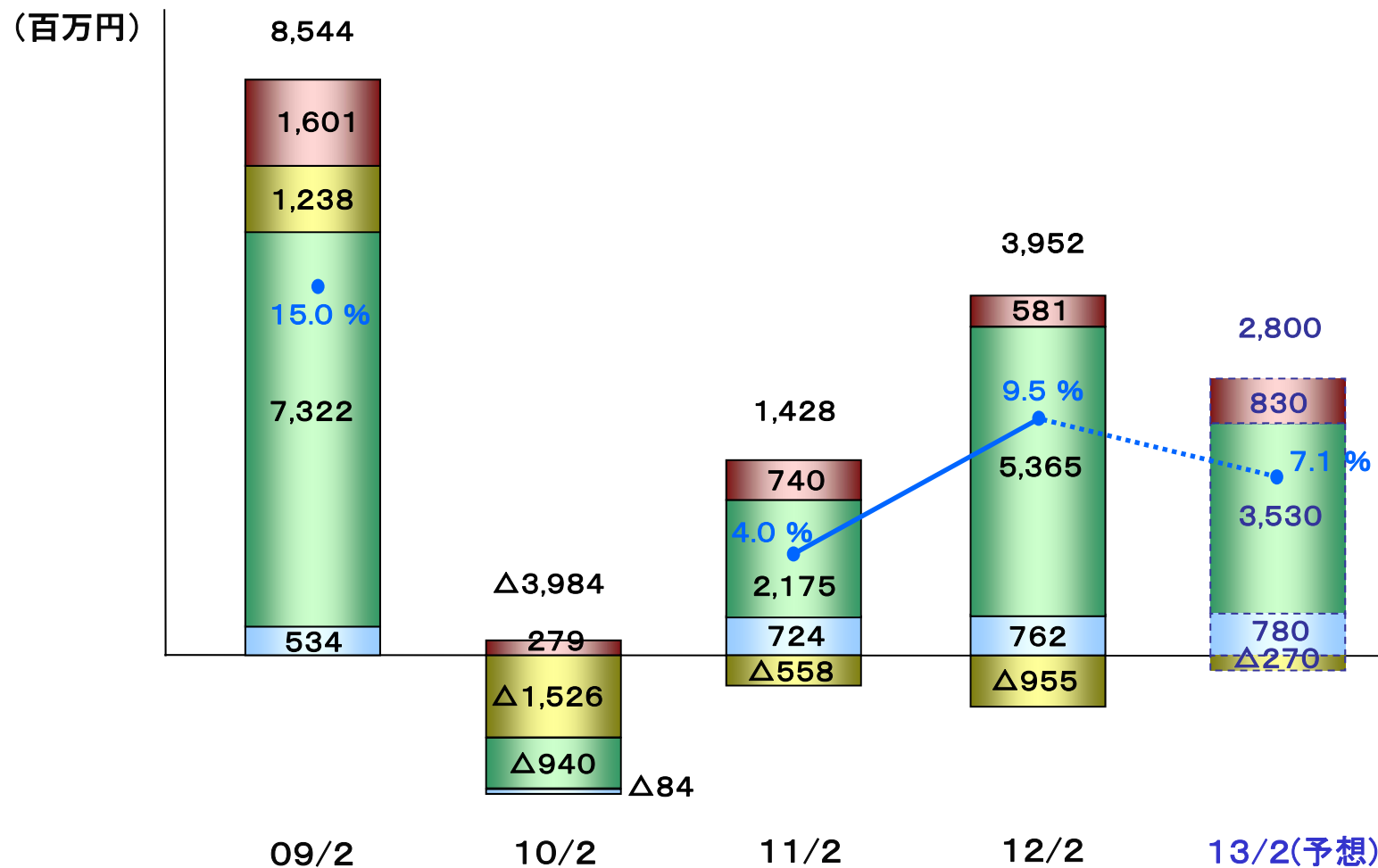


## 4. 業績の推移・見通し

## 売上高推移



# 営業利益推移

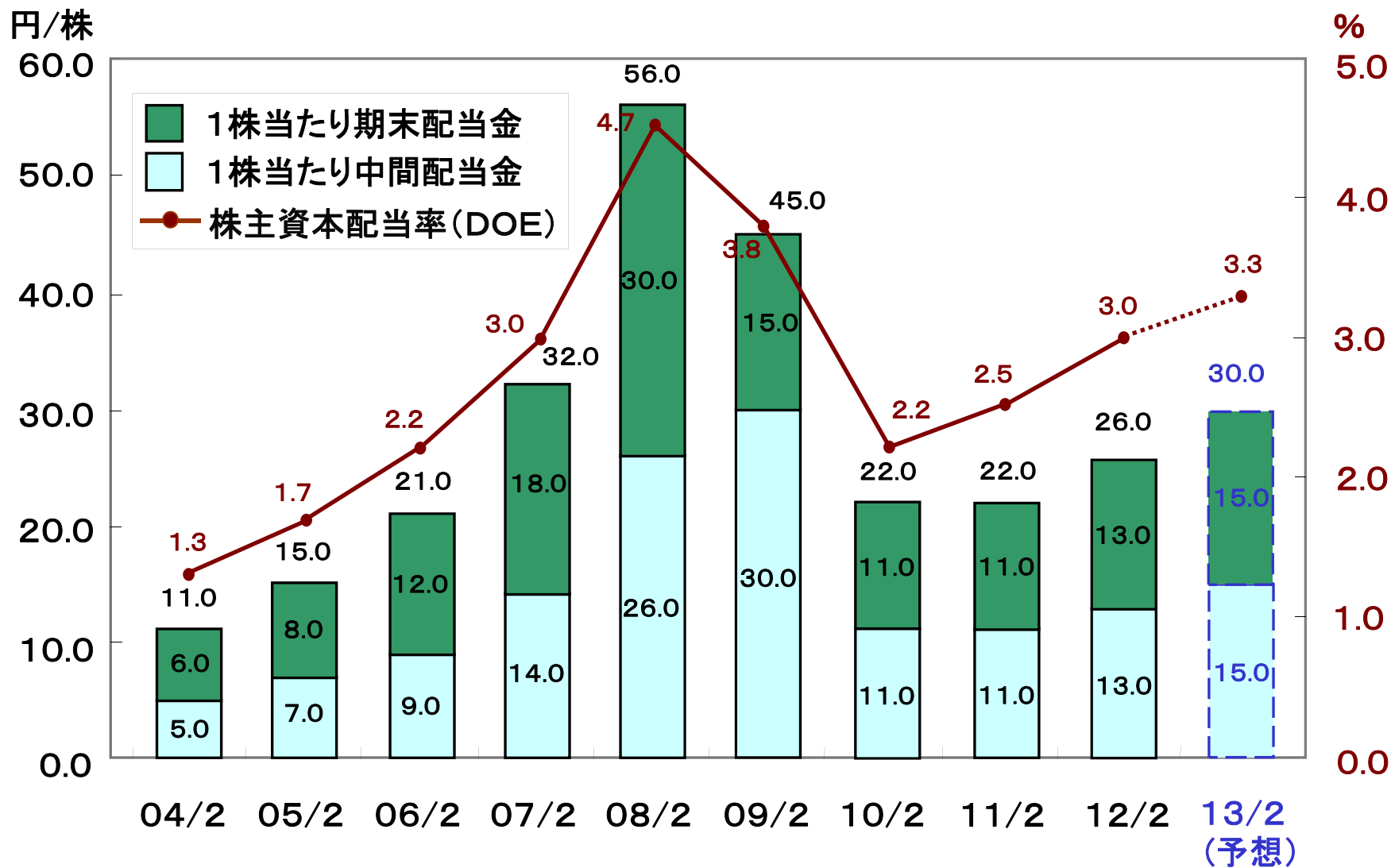


特機
  コンポ
  工作機械
  精密部品
  営業利益率

※営業利益合計は、消去又は全社控除後

※10年2月期は営業損失となるため、営業利益率を算出しておりません。

## 配当金額推移



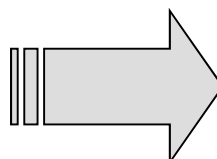
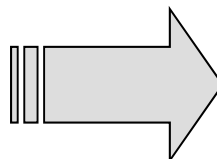
## 5.将来展望

## 当社を取り巻く環境

### 市場環境

BRICsや東南アジア等新興国市場の拡大

各種製品の  
小型化・高精度化



### 当社への影響

海外事業展開の  
さらなる拡大

小型精密加工・  
組立技術ニーズ  
拡大

## 中期戦略

経営資源の最適配分と事業構造改革により、  
収益性の確保と成長性の追求を図り、  
継続的な株主還元の充実を目指す。

### 収益性の確保

- ・グローバルニッチ市場での高シェア獲得
- ・収益性の高い「製品」と「市場」への経営資源の集中投資
- ・高付加価値製品の創出

### 成長性の追求

- ・新興国市場における販売体制の強化
- ・海外生産拠点の活用による最適な生産体制の構築
- ・コア・コンピタンス強化のための事業提携およびM&A

### 健全性の維持

- ・自己資本比率 : 75%以上
- ・ネットキャッシュ比率  
(対総資産) : 25%以上
- ・株主還元の充実  
配当性向 : 40%以上  
DOE : 4.5%以上

小さな技術がつくる大きな世界  
スター精密株式会社

<http://www.star-m.jp>